

■長年常態化した、空咳が改善したケース

日本ホメオパシーセンター東京本部
JPHMA 認定ホメオパス No. 0245
HMA 認定ホメオパス No. 1339
菅野 幸二 (かんの こうじ)

【クライアント】

女性 38 歳

【症状】

主訴

- ・20 歳くらいから、季節、時間帯にかかわらず、空咳が出て、日中、苦しい感じがする。
特に睡眠不足からくることが多いとのこと

その他の症状

- ・やらなければいけないことを後回しにしてしまう。だらしがないところがある。
- ・言いたいことを言えない。
- ・夜元気で、昼眠くなってしまう。
- ・指が痛い

【タイムライン】

- ・幼稚園 マイコプラズマ肺炎
- ・小中学校 インフルエンザ予防接種 行ったかどうか不明
- ・高校 運動すると苦しいので病院で「運動性喘息」と診断
- ・20 歳 空咳始まる。
- ・24 歳 結婚
- ・28 歳 第一子出産
- ・31 歳 第二子出産
- ・33 歳 おたふく風邪になる、肺炎になる。忙しかった、体を酷使
- ・34 歳 ぎっくり腰になる
- ・38 歳 手の関節が痛い (セラピストとして手の酷使)

【1 回目の健康相談】 2015/09/17

【主なレメディーと選択理由】

- ・オリジナルアルポ Calc-p. LM1
 - ・オリジナルアルポ Carc. LM2
 - ・オリジナル (MT) Berb-v. +Puls. LM3 +Nux-v. LM3 +Inf03-V 6C +Zinc-m. 12C +Ferr-p. 6C
- TBR より、気道、喉の空咳、＜睡眠不足 ＜周期的の症状を入れると、Nux-v., Puls. の順。明らかに子供のころからのマイコプラズマ肺炎や運動性喘息などから結核マヤズム傾向の疾患であることからわかるが、まず Carc. から始めるのがよいと判断した。
- また、(MT) Berb-v. で腎臓サポート、喉、鼻が弱いことから、ミネラルは結核傾向の Calc-p. を選択した。
- 子供の頃のインフルエンザの予防接種の影響も勘案し、Inf03-V 6C を選択。血液の循環も考慮し、Zinc-m. 12C +Ferr-p. を追加した。

(参考) TBR 選択

- 1 : 544# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 1. 気道 - 気道 (気管および気管支) :
2 : 545# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 1. 気道 - 喉頭 :
3 : 583# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 5. 咳 - 吐出物 - のない :

- 4 : 2160# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 眠り - 喪失(夜警、睡眠不足)から :
 5 : 1694# 4. 基調 - 1. 基調 - 1. 時間 - 周期的に :

【2回目の健康相談】 2015/12/17

クライアントのコメントより

- ・9/20～飲み始めて 1週間くらい 排尿の量が多かった。
 1週間くらいすごく透明の尿が多量に出た。また、おならが少し出た。
 (普段は1日4から5回 尿の色は少し黄色みを帯びている。今回の回数は同じだが尿の色は透明)

- ①咳、喉痛み：咳は出なくなった。睡眠不足の際も出ない。
 ひどい時を100%とするとほぼ0%となった。
- ②やらなければいけないことを後回しにしてしまう。だらしがないところがある。
 =>変化なし
- ③言いたいことを言えない。
 以前より言えている感じあり。もとは30%くらい=>70%くらい言えるようになった。
- ④夜元気で、昼眠くなくなってしまふ。朝が起きられない。=>変わらない。
- ⑤指が痛い =>改善している。
- ⑥その他 足がむくみやすい =>そんなに気にならない。 あまりない。

・一番気になっていること

- ①後鼻漏 <朝 黄色い鼻汁 血がまじることあり
- ②やらなければならないことを後回しにしてしまう。
- ③朝早く起きられるようになりたい。

【2回目の主なレメディーと選択理由】

- ・オリジナルアルポ Calc-p. LM2
- ・オリジナルアルポ Carc. LM3
- ・オリジナル (MT) Tarax. +Puls. LM3 +Nux-v. LM4 +Phos. LM4 +Chin. LM4 +Zinc-m. 12C
 症状が全体的に改善しているので、選択したレメディーが適していると判断した。
 (MT) Tarax. 肝臓サポートに変え、前回のレメディーのポテンシーをあげて継続することにした。
 また、TBRにより後鼻漏のレメディー Phos. を選択

(参考) TBR 選択

- 1 : 1687# 4. 基調 - 1. 基調 - 1. 時間 - 朝に :
 2 : 110# 1. 部位 - 1. 頭部 - 7. 鼻 - 内鼻 :
 3 : 594# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 6. 気道分泌物(鼻汁および痰) - 血性の - 鼻汁 :
 4 : 624# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 6. 気道分泌物(鼻汁および痰) - 粘り気のある(粘り強い)鼻汁
 および痰 :
 5 : 609# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 6. 気道分泌物(鼻汁および痰) - 色 - 黄色い - 鼻汁 :

【3回目の健康相談】 2016/2/18

クライアントのコメントより

- ・タラクシカムをとると後頭部に拍動感あり。10分くらいで消える。
- ・後鼻漏がなくなった。まったくない。
- ・お手洗いにいったら、鮮血がでた。量は少なかった。1回だけ。
- ・大腸のおわりのところが痛くなった。昔、便秘でおなかかすごく痛くなったことを思い出した。
- ・咳はほとんど出ない。
- ・タラクシカムに加えてミネラルサポートをとった。夜も眠れるようになった。朝の目覚めもよい。(以前は朝がつかった)

- ・言いたいことが言えている。
- ・1月11日にぎっくり腰になった。前日、頭に血が上るくらい、怒れた。(これまではおさえてきたが)
冷静に上司にそのことを言った。そうしたらぎっくり腰になった。
- ・足のむくみもない。指の痛みもない。
- ・やらなければならないことを後回しにする。少し改善してきている。だらしがないのが少なくなった。
- ・今、一番気になっていることは特にない。症状もない。良好。

【3回目の主なレメディーと選択理由】

- ・オリジナルアルポ Calc-p. LM3
- ・オリジナルアルポ Carc. LM4+ Psor. LM4
- ・オリジナル (MT) Tarax. +Phos. LM5 +Chin. LM5 +Sep. LM5

症状も改善し、特に症状も気になっていることもないという事であるので、抗疥癬治療を継続。ポーションをアップし、前回のTBRで2番目であったSep.を追加した。
(ホルモンバランスの影響も考えて)

【考察】

- ・20歳くらいから、常態化した主訴の空咳がほとんど出なくなった。また、指が痛み、足のむくみ、後鼻漏もなくなり、夜も眠れるようになり、朝の目覚めもよくなった。さらに、精神的にも言いたくても言えなかったことが改善しており、身体、精神ともに自己治癒力がアップしていることがわかる。2回の相談会で症状もなく、良好となり、気になっていることも特にない。ということで3回の相談会以降の来訪はない状況である。本来、症状がなくなっても再発をなくするための抗疥癬治療を継続することが大切であるが、その後の状況が気になるところであり、継続して健康相談に来ていただくことが課題である。
- 2016. 10. 8クライアントに確認 その後、空咳は出ていないとのこと。但し、今は、副鼻腔炎になっているとのことなので、該当のレメディーを助言し、継続して相談会に来ることをお勧めした。

【まとめ】

今回のケースは38歳の女性の方で、20歳くらいから、季節、時間帯にかかわらず、空咳が出て、日中、苦しい感じがする。特に睡眠不足からくることが多いとのこと。症状の背景などをお聞きし、子供のころからのマイコプラズマ肺炎や運動性喘息などから、結核マヤズム傾向の疾患であることからわかります。

また、後鼻漏もあり、喉、鼻も弱いことから、腎臓、肝臓サポートをしながら、ミネラルは結核傾向のレメディーを選択、子供の頃のインフルエンザの予防接種の影響も勘案し、血液の循環も考慮し現在の症状に合わせたレメディーを選択しました。

健康相談を積み重ねるごとに自然治癒力が正常に働き、免疫力がアップし、3回の健康相談で常態化した主訴の空咳がほとんど出なくなり、空咳以外の症状、指が痛みや足のむくみ、後鼻漏もなくなり、夜も眠れるようになり、朝の目覚めもよくなったとのこと。さらに、精神的にも言いたくても言えなかったことが改善しており、身体、精神ともに自己治癒力がアップしたことがわかります。

長年の慢性的な症状でもホメオパシーで解決できる可能性があります。多くの方にもっとホメオパシーを活用していただきたいと思います。

カテゴリー：[医原病・薬害]